

川越まつりの新しい楽しみ方。山車めぐりの合間に「足湯」と秋限定「焼き芋みるく」でほっこり

10月17日（土）、18日（日）開催、蔵造りの町並みが1年で最も賑わう「川越まつり」。和雑貨商【椿の蔵】の裏庭「足湯喫茶TSUBAKIYA」に2026秋限定メニューが新登場！



「令和8年度川越まつり」が、2026年10月17日（土）・18日（日）に開催されます。埼玉県川越市蔵造りの町並みにある和雑貨商「椿の蔵（つばきのくら）」の目の前を、豪華絢爛な山車が巡行します。昨年は2日間で66万人※が訪れた、1年で最も賑わうお祭りです。山車めぐりや散策の合間には、椿の蔵の裏庭に佇む「足湯喫茶TSUBAKIYA」へ。人気の生わらび餅ラテに、秋だけの味わい「焼き芋みるく」が登場しました。まつり当日は21時まで営業しています
※令和7年（2025年）入込観光客数。川越市観光課データより

埼玉・川越が1年で一番盛り上がる「川越まつり」とは

江戸「天下祭（てんかまつり）」の様式や、風流を今に伝える貴重な都市型祭礼として時代を超えて守り発展し、370年以上の歴史があります。川越氷川祭の山車行事として、国の重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。一番街は歩行者天国となり、豪華絢爛な山車の巡行や、夜の最大の見どころである曳っかわせ（ひっかわせ）が行われます。すれ違う山車同士が囃子を競い合う場面は必見です。日本の伝統や文化、四季を感じる習慣を、私たち椿の蔵、そして川越の街を通して多くの人に繋いでいきたい、そんな想いで街の皆さんと川越まつりを盛り上げていきます。

和の空間「足湯」で小休憩

椿の蔵の裏庭にある「足湯喫茶TSUBAKIYA」では、足湯でお寛ぎいただきながら、川越ならではのスイーツやドリンクをお楽しみいただけます。



一番街 椿の蔵 正面入り口



裏庭にひっそり佇む足湯喫茶TSUBAKIYA

◆秋限定メニュー「焼き芋みるく生わらび餅ラテ」



香ばしい焼き芋の甘みと、まろやかなミルクを合わせた生わらび餅ラテ。とろりとなめらかな口当たりと、やさしく広がる焼き芋の風味を楽しめる、秋にぴったりの一杯です。販売期間：2026年9月15日～12月初旬頃

◆人気定番メニュー



「熟成焼き芋ブリュレソフト」



「焼き団子」に、秋限定「さつま芋あん」



「3種食べ比べわらび餅」に秋限定「紫芋味」と「焼き芋の蜜」

てぬぐいがセット！手ぶらでお立ち寄りください

全4種のお好きな柄から1枚選べる、オリジナルてぬぐい付きのため、タオル等を持っていなくても大丈夫です。また、水に浸すと文字が浮かび上がる、めずらしい水みくじも付いています。足湯でくつろぎながら、おみくじをゆっくりと読んでみるのも楽しいです。



テイクアウトメニュー販売「生わらび餅ラテ」

足湯のご利用なしでも、手持ちグルメとして「生わらび餅ラテ」をご注文いただけます。秋限定「焼き芋みるく」もテイクアウト可能です。



足湯受付、テイクアウト注文口

◎足湯喫茶TSUBAKIYAメニューをみる <https://bit.ly/4j8tvPv>

◎TAKE OUTメニュー <https://bit.ly/4rXyC7s>

和雑貨・レンタル着物・だるまの絵付け体験



和雑貨が揃う「[倭物やかや](#)」をはじめ、川越の街歩きを楽しめるモダン着物やカジュアルな和洋服をレンタルできる「[晴衣（はれころも）](#)」、自分だけのだるまを作る絵付け体験が楽しめる「[Decoだるま工房](#)」など、さまざまな楽しみ方ができる「椿の蔵」。川越まつりの合間にも、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



店舗概要

名称：椿の蔵（つばきのくら）住所：〒350-0063 埼玉県川越市幸町3-2 <https://bit.ly/47b1lqk>

◎営業時間

館全体／平日10:00-18:00、土日祝10:00-19:00 ※川越まつり10/17・18は、10:00-21:30

足湯喫茶TSUBAKIYA／平日11:00-17:30（ラストオーダー17:00）、土日祝10:00-18:30（ラストオーダー18:00）※川越まつり10/17・18は、10:00-21:00（ラストオーダー20:30）

◎交通

■西武新宿線「本川越駅」を利用の方、東武バス5分、「一番街」にて下車、または徒歩16分。■東武東上線・JR「川越駅」を利用の方、東武バス7分、「一番街」にて下車すぐ。

※なお、川越まつりの日は、蔵の街通りが所定の時間「車両通行止め」となります。